

武田祐介 氏（電磁機能流動研究分野 M1）が日本機械学会 第 94 期流体力学部門講演会において優秀講演表彰を受賞（2016 年 11 月 12 日）

大学院工学研究科博士前期課程 1 年（流体科学研究所 電磁機能流動研究分野）の武田祐介 氏が「日本機械学会 第 94 期流体力学部門講演会」にて「流体力学部門優秀講演表彰」を受賞いたしました。

受賞の対象となった研究内容は、木材から抽出されるセルロースナノファイバー（CNF）に対し、交流電場によるセルロース微小繊維の静電配向法を確立し、伸長流を利用した配向制御法と本方式を重畳させることにより、流動下においても繊維配向が著しく向上し、繊維の回転拡散係数が低下することを光学的計測から世界で初めて明らかにしたものです。現在、本研究は、スウェーデン王立工科大学との共同研究に発展し、高強度セルロースファイバー創製に向けた学術的および技術的発展開が大いに期待されます。

題目：「静電配向制御によるセルロース新素材創製プロセス」

著者：武田祐介¹，高奈秀匡²

¹東北大学大学院工学研究科，²東北大学流体科学研究所



問い合わせ先：

東北大学 流体科学研究所 電磁機能流動研究分野

高奈 秀匡 准教授

Tel: 022-217-5223

Enauk: takana@fmail.ifs.tohoku.ac.jp